

平成 25 年度学習内容定着度調査分析（宇都宮市立清原北小学校 4 年）

【国語】★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容 を聞き取る	話の中心に気をつけて聞くことが十分とは言えないが、結論となることは理解できている。	日常的に「話す、聞く」活動を取り入れ、話の要点の聞き取り方や内容を聞き取りやすい話し方について、継続して指導する。
漢字	「読む」、「書く」とともに市の正答率を上回っているが、書くことの定着が不十分である。	新出漢字の習得だけでなく、既習漢字を反復練習することにより、漢字の読みや書きの定着を図る。
言葉の学習	修飾語、ことわざの使い方、漢字辞典の使い方の理解が十分とは言えない。	修飾語などの文の構成については国語の時間を中心に、継続して指導することで定着を図る。ことわざや漢字辞典は多様な場面で使う場を設定し、身につけられるようにしていく。
物語の内容を 読み取る	登場人物の気持ちの変化の読み取りの正答率が低く、きちんと読み取ることができていない。	文脈に沿って、場面の様子や登場人物の気持ちを読み取っていく指導を続ける。
説明文の内容 を読み取る	目的に応じて内容を読み取ることはできるが、指示語がさすものの読み取りや接続詞の適切な使い方については十分ではない。	各段落の要点を読み取っていくとともに、段落と段落の関係、段落の役割について考えさせる指導に力を入れる。
ポスターと話し 合いの内容 を読み取る	資料の読み取りについては、市の正答率を上回っている。	身の回りのポスター資料などを使って日常的に読み取る練習をするなど、理解を高める工夫をする。
作文	段落を分けて書くことは十分ではないが、自分の意見とその理由を分けて書くことはよくできている。	日記指導などを通して短作文を書く習慣をつけたり、指定した長さで書くことや、段落構成を指定して文章を書く練習をしたりして、文章力を高める。

【算数】★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	たし算ひき算に関してはよく理解できているが、桁の多い計算や分数、概数などに関する理解は十分とは言えない。	既習事項の復習を行う。理解が不十分な児童には個別に繰り返して指導する。
量と測定	分度器の読み方や長方形の面積を求めることはよくできていた。角の大きさや面積の検討をつけることや、複合図形の面積を求めることなど、発展的な問題の正答率は低かった。	基礎的な内容だけでなく、発展的な学習も多く取り入れ、習熟を図る。
図形	全体的に市の正答率を上回っている。二等辺三角形の作図は、ほぼ理解できていた。	図形の性質や、作図について既習事項の復習を十分に行う。
数量関係	計算のきまりについては、定着が図られているとは言えない。折れ線グラフや二次元表からの読み取りはよくできていた。	既習事項の復習を行う。理解が不十分な児童には同様の問題を使用した反復練習を行い、折れ線グラフや二次元表の読み方や特徴について理解を促す。